

# あなたも地域を舞台に 子育てを支えませんか

▶問い合わせ 生涯学習課 ☎0794(35)0565

近ごろ、外で遊んでいる子どもをあまり見かけなくなりました。学校が休みの土、日曜日、子どもたちを地域で育てようと、ボランティアグループによる、文化やスポーツ体験の場づくりが行われています。

また、大人と子どもが顔の見える関係を築けるよう、大人が子どもたちへの声かけや見守りを行うなど、自分たちのできる身近な子育て支援をしませんか。

## いきいき体験を子どもたちに

播磨町では、子どもたちに  
休日を計画的に過してもらう  
ため、地域の皆さんの協力で

より子どもたちの体験事業や  
スポーツ教室を行っています。  
中央公民館を拠点として土  
曜日にもいきいき体験隊を、  
また、体育館や運動場では子  
どもいきいきスポーツ教室を  
開いています。

地域の子どもは地域で育て  
ようと、婦人会など女性団体  
が中心となり土曜子どもいき  
いき体験隊が始まりました。  
学校ではできない体験活動  
の機会と場を提供し、地域の  
ボランティアがふれあう中で、  
子どもたちが約束事を通して、  
社会性や感謝の気持ちを身に  
つけます。

料理やリサイクル、昔遊び  
など多彩な11の講座に200人  
の子どもたちが参加しています。



▲体験隊の開講式で

## スポーツで元気な仲間づくり

スポーツクラブ21はりまが  
中心となり、体育協会や指導  
ボランティアにより、子ども  
たちのニーズに応じたスポー  
ツプログラムを提供していま  
す。

現在2期目として、陸上競  
技や硬式テニスなどを土、日  
に行い、約340人の子どもた  
ちが参加をしています。

自分で楽しむスポーツだけ  
でなく支えるという面からボ  
ランティアに協力いただきま  
す。



▲秋ヶ池運動場での陸上競技



▶「おもしろネイチャーサイエ  
ンス」の実験装置に目を輝かせ  
る子どもたち。

「陸上競技教室を指導し  
ていますが、小学校の低学  
年には楽しみながら興味を  
持たせ、中・高学年に時に  
は厳しいアドバイスも与え  
ています。一生懸命やって  
いる子や少し消極的な子を  
含めて、この教室の目的を  
わかってもらえるよう一緒  
にやっています。私自身も  
指導する難しさを学びなが  
ら、体力の続く限り指導し  
ていきたいと考えています。」  
指導者 中山昌久

## 子どもたちへの声かけと見守り

登校時に校門で明るくあいさつを交わす



▲播磨小学校で元気にあいさつ

朝の小学生の登校時に、女  
性団体などのボランティアた  
ちが、各小学校の校門に立っ  
て、明るくあいさつをします。  
登校の様子を見守ることで、  
地域の子どもの顔を覚え、気  
軽に声をかけ合えます。

ボランティアの岡部さんは、  
「あいさつを通じ子どもたち  
から元気をもらいます。自分  
の家の前でも、子どもたちが  
ら声をかけてくれる」と話さ  
れました。

## 地域子育てネットワーク事業

皆さん、ペンギンファミリーのマークは、もう  
覚えてくださいましたか？

播磨町女性団体協議会が中心になっ  
て、地域の子どもたちへの声かけや、  
子育て家庭への見守り、支援、気配り活動を  
展開しています。



住民の皆さまのご協力を、重ねてお願いします。

## ひょうたんハートブリッジ運動

「地域の子どもは、地域で守り育てる」を大  
前提に「やさしいハートハッス」をつけたおじ  
さん、おばさんたちの声かけ、見守り運動も  
展開中です。この運動は、気軽に声かけをし、  
大人と子どもが共に顔の見える関係を築くこと  
です。皆さまもぜひメンバーにご協力ください。



## オリジナルのまが玉と土器 (考古楽倶楽部)

行事などのない土曜、日曜の午後、郷土資  
料館で、土器やまが玉作りの古代体験ができ  
ます。指導は、県立考古博物館のボランティ  
ア養成講座を修了した考古楽倶楽部のメンバ  
ーたちです。

子どもたちは、ていねいに教えてもらい、  
石に穴をあけて削り、まが玉を作っていました。  
メンバーの栄木さんは、「弥生時代、古墳  
時代といってもわからない。子どもたちと一  
緒に楽しむつもりでやっています。昔の人は  
こうやって作ったと話しながら、その子のオ  
リジナルのまが玉や土器ができあがるのがう  
れしい」と言われました。

## 楽しいおはなし会 (図書館ボランティア)

毎週土曜日(手づくり会の日を除く)午後  
3時から、図書館2階視聴覚室でおはなし会を  
行っています。おはなし会では、ストーリー  
テリング(おはなし)と絵本の読み聞かせを  
親子や友だちと来て楽しんでもらっています。

活動を支えているのは図書館ボランティア  
の「ゆめのポケット」と「野の花」のメンバ  
ーです。ボランティアの皆さんは、絵本やお  
話の素晴らしさを伝えられるのももちろんの  
こと、地域の子どもたちと顔見知りになり、  
子どもの方から声をかけてくれることがとて  
もうれしく、活動の励みになっているそうです。



交通安全教室

播磨南小学校

3年生は、自転車の乗り方です。スタートする時の後方確認、交差点の右折の方法を実際に乗りながら覚えさせました。右手を使っての右・左折、止まり方の合図の仕方も教えていただきました。汗をかきながらでしたが、いっぱい学んだ1日でした。

「右見て、左見て、もう一度右を見ましょう」「何も来ていないかな。じゃあ、手を上げて渡りましょう。」

6月17日(金)、望海公園で交通安全教室が実施されました。1年生は歩き方です。2人一組になって、信号や横断歩道のない道路、踏切の渡り方を練習しました。



確認してから出発だよ



古代に思いをさせて「土器作り」

播磨北小学校



どんな作品に仕上がるかな

1カ月間ほど乾燥してから窯で焼きます。今から出来上がりが楽しみです。

中大遺跡は土器の遺跡といわれるほど、大量の土器が発見されています。私たちも大中の古代人になった気持ちで取り組みました。制作は、古代でもされていた輪積み法です。何しろ土器作りは初めての経験です。ので、なかなかうまくいきません。輪を作るための粘土のひもも細い太いがあり、形が整いません。しかし、最後には悪戦苦闘しながら、何とか完成させることができました。土器は、



5月31日(火)に、古代に思いをさせて、6年生が土器作りに挑戦しました。社会科で弥生時代の学習をし、



播磨小のわくわくデイ、子どもたちの限らない創造力と自主性を元に、ますます進化発展していきます。

勉強っておもしろいぞ！わくわくデイ 播磨小学校 24日(金) 6月 待ち待ちは、待ち待った「わくわくデイ」でした。

勉強っておもしろいぞ！わくわくデイ

播磨小学校

わくわくデイとは、3年生以上で学習する「総合的な学習の時間」のDタイム(国語や理科などの各教科で学習した内容の発展)の発表・表現の場です。発表あり、クイズ、音読、劇、ライブ音楽付き紙芝居など、各学年の趣向やアイデアを生かした楽しいものでした。この日、1・2年生はゲストとして、各教室を巡っての参加体験でしたが、普段の学習とは一味違って、遊びながら勉強の世界へ知らぬ間に入り込んでいる様子でした。



えがおいっぱい！あせいっぱい！

播磨西小学校



じゃんけんぼん！

「先生、汗でびしょびしょ！しんどい！でも、めちゃ楽しい！」 1年生の体育「ちからいっぱいあそぼう」の学習では、準備体操の後、跳び箱やマットをはじめ、平均台、登り綱(ターザンロープ)などで作られた7つのコーナーを順番に回ります。1コーナー1分ちよつとですが、7つのコーナーを回り終えた後の子どもたちは、どの子も汗びっしょりで、体育館に倒れこんでしまいます。それでも、今度は自分の好きなコーナーで思う存分運動を楽しみます。子どもたちのお気に入りには、なんと「ターザンジャンプ」と、舞台からセイフティーマットに思いっきり跳び降りる「スーパージャンプ」。活動を終えた子どもたちは、顔一杯で笑っていました。

トライやる・ウィーク

播磨南中学校



将来の職業は？

連日の晴天に恵まれた6月6日(月)から10日(金)までの5日間、2年生は、学校から離れ「トライやる・ウィーク」に参加しました。ある保護者の方が、「地域の方に温かく見守っていただいていることを知り、親としては大変にうれしい思いで、子どもは幸せだったなと思います。無事楽しく1週間を過ごせて、この経験をぜひ良いほうに向けていって欲しい」と、感想を書いておられました。地域の方々を声にかけていただき、励みになった生徒もたくさんいました。お世話になった事業所の皆さま、直接指導してくださったボランティアの皆さま、大変貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

思い出に残った自然学校

蓮池小学校 5年生

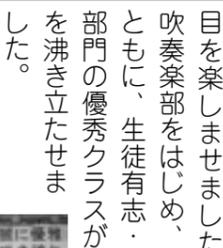


潮風が気持ちいい

5月30日(月)に、5年生120人は、うれしき一杯元気一杯、国立淡路青年の家へと出発しました。6日間の生活では、リーダーと共に生活をしました。その中で子どもたちは、友達と協力することの素晴らしさ、きまりを守ることや健康であることの大切さ、そして家族のありがたさを痛感しました。活動では大自然の中の力ツター訓練や、砂の造形、魚釣りが特に楽しかったようです。また食事がバイキングでとてもおいしかったそうです。

学校がひとつになった潮風祭

播磨南高等学校



6月10日(金)・11日(土)に、播磨南高等学校における最大のイベント「潮風祭」が行われました。今年も運悪く天候に恵まれませんでしたが、多くの来場者があり、例年に負けない盛り上がりとなりました。1日目は、校内公開が行われ、ステーション部門のクラスや文化部の発表があり、今までの練習の成果を全て出し切りました。オープニングでは、生徒会によるダンス「Mickey」を披露しました。2日目は、一般公開があり、多くのクラス展示物が来場者の目を惹きました。体育館では、吹奏楽部をはじめ、多くの文化部とともに、生徒有志・幕間・ステーション部門の優秀クラスが、来場者や生徒を沸かしたせました。

播磨南高等学校のきゃんぱすだよりは、生徒会が執筆しています。

トライやる・ウィーク

播磨中学校



多くの体験をしました

この事業は、学校を離れ、地域や自然の中で生徒が主体的に様々な体験をすることがねらいとなっています。80以上の事業所の協力により、班長を中心に各活動を頑張りました。一つ一つの貴重な体験を通して、社会生活のルールを覚え、責任の重さを痛感するとともに、他人を思いやる心を育てる機会にして欲しいと願っています。

このエッセーが広報に載るころには、日本全国暑い夏の真っただ中。子どもたちは長い夏休みの始まりに胸をワクワクさせていることだと思えます。そして、今年も播磨町夏まつりの季節がやってこようとしています。

我が家は、私と夫と、中一の長女、小5の次女の4人家族です。野添コミセンのサークルである「ダンシングチーム・キララ」に7年前に長女・真璃子が、そして5年前には次女・由梨子が入り、それぞれ播磨町夏まつりで初舞台を踏んでからは、夏まつりは暑いながらも楽しみなイベントの1つになりました。

明石市からこの播磨町に引っ越してきて、まもなく10回目の夏を迎えようとしています。私

ダンシングチーム・キララと私と夏まつり

自身は阿波踊りで有名な徳島の出身で、子どものころ千葉と広島に少し住んだ後、再び徳島で青春期を過ごしました。それから明石で就職、結婚し、長女の幼稚園入園前に家を構えることを決め、播磨町が第2の故郷となりました。

引っ越してきた場所は、加古川市に近い播磨西小学校区。野添コミセンのある蓮池小学校区にメンバーの多いダンシングチーム・キララを知ることができたのは、今から振り返れば偶然というより、何かの巡り合わせとしか思えません。たまたま近所に住んでいた人の娘さんがキララに入っていたため、稲美町のコスモホールでの発表会を見に行く機会があり、その世界にすっかり魅了されてしまったの

でした。ものすごいパワーとエネルギーで輝いている子どもたちのダンスに感激し、美しい衣装の数々がお母さんたちの手作りだと聞いて本当に驚きました。

播磨キララに娘たちが入ったからは、たくさんの素晴らしい出会いがありました。主宰者の西尾弘子先生をはじめとする熱心な先生方。校区を越えての仲間とそのお母さんたち、全員でつくり上げていく舞台は毎回、言葉にならない感動を覚えます。

実は私も2年前の夏まつりに、キララのお母さんチーム・ダンスサークルCOCOOROで、初舞台を踏みしました。今年も、また何人かの小さなダンサー（大きなダンサーも！）が、初舞台を踏むことでしょう。

ちょっと特別な夏まつりに、このエッセーを読んで興味を持ってくださった方はぜひ、足を運んでみてください。

あなたに  
バトンタッチ

リレーエッセー⑧4



香川久美子さん  
(北本荘)

趣味 ダンス・読書・手芸  
播磨町夏まつり・キララの出番は午後4時30分ごろです。レッスンは毎週水曜日、野添コミセンです。

子育て学習センターには、現在170組の親子が入れ代わり立ち代り訪れ、楽しくグループ交流をしています。学習センターで行っている「子育てトーク」は子どもの年齢にそった子育ての悩みや不安を話し合い、みんなで共感・共有しています。

子育ては親自身の物事に対する取り組み方や考え方で大きく違ってきます。親が心身共に安定していれば子育ては不安は少なく、子どもはいきいきと過ごしていきます。

ですが、母親の体調がよくなかったり、夫や祖父祖母などの間において、子育てになかなか協力してもらえない、自分に関心を持ってくれない、気持ちを受け入れられないなどから落ち込んでしまつと、ちょっとしたことでも感情的になって、いらいらしたり子どもに強く当たったりするので、子どもも精神的に不安定になり、お友達とよくトラブルを起こしたりします。

一生懸命子育てをしている母親ほど不安が大きく、それを一人で抱え込まな

HOTホット育児を目指して 「子育ては親育ち」 子育て学習センター

ればならない状況になると、自尊感情（セルフエスティーム）が低下し、自分は子育てが下手だとか、母親失格だとかまで思い自分自身を責めてしまいます。

しかし、そんな時、両親教育インストラクターに相談して自分に合ったアドバイスをもらったり、子育てグループの仲間と辛さを受け止めて励ましてもらうことで、親が元気になるれば、子どもの心も安定し、お友達とも仲良く遊べるようになります。

学習センターの親子は、グループ交流で培った信頼感をもとに、一緒に子育てしていくという共通意識でお互いに「心の栄養」を与え合い、子育て力向上を目指して、共に学び支え合っています。子育てグループの親子は笑顔がステキで、おしゃべり好きで明るいです。人も自分も大好きで、胸を張って自分らしく生きていけるママたちが一人でも多くなるよう、私たちは「親育ち」に温かく寄り添っていきたくと思っています。

“ただ今がんばり中!!”

蓮池幼稚園



▼さっそく練習だ!



運動会での晴れ姿をお楽しみに。

蓮池幼稚園の5歳児は、6月11日(土)に、蓮の実会“の皆さまのご指導で、お家の人と一緒に竹馬を作りました。子どもたちは自分の竹馬が出来て大喜び! わくわくルームの前にカーペットを敷いた練習場に次々集まってきました。はじめは壁にもたれてまっすぐ立ち、腕を伸ばしてお尻で壁を、えいっ!“。立つのがやっとだった子どもたちも1歩2歩と歩けるようになってきました。指の皮がむけても「バンドエイド貼ったら大丈夫」と、熱心です。

親子体操、楽しかったね

播磨西幼稚園

▼親子の心と心が向き合います



▲播磨西小学校の門に西幼稚園のプレートが取り付けられました



親子体操の日。子どもたちは、朝からお父さんと一緒に元気に登園してきました。西小学校の体育館では、お父さんと一緒にじゃんけん鬼ごっこやリズム体操など、思いきり体を動かして、にこにこ顔の子どもたちです。中でも一番楽しかったのは、プランコ“と”ヒコウキ“。「わーっ、気持ちいい!」「目がまわるー」などと大喜び。「楽しかった!」「お父さんありがとう」と、お父さんとの楽しいふれあいに大満足の子もたくさんでした。楽しい汗を流した後は、親子で竹馬や竹ぼうくり、水鉄砲と一緒に作り、楽しい1日を過ごしました。

クロネコさんの交通安全教室!

播磨幼稚園



交通安全ルールを守ろう



子どもたちの顔も真剣で、時にはワツと歓声も上がりました。きつと心に残ったことでしょうか。

と、3つの約束をしました。

○ハるまの、したは、もくりません。  
○くるまの、まわりで、あそびません。  
○どうろに、とびだしたりは、しません。

幼稚園のお庭に突然現れた宅配業者の大きなトラックに子どもたちは「どこから入ってきたんやろ?」「何するの?」と、目を丸々とさせています。お母さんと子どもたちの見守る中、人形を使ったり、実際に参加したりして、

幼稚園のお庭に突然現れた宅配業者の大きなトラックに子どもたちは「どこから入ってきたんやろ?」「何するの?」と、目を丸々とさせています。お母さんと子どもたちの見守る中、人形を使ったり、実際に参加したりして、

とれたてやさい大好き! 蓮池保育園



▲大きくなったなあ“チョコキン!”

蓮池保育園では、季節毎の野菜を畑やプランターで栽培しています。今は、夏野菜がぐんぐん育ち、実をつけ始めています。ナス、キュウリ、オクラ、トマト、エタマメ。毎日、登園すると一番に水遣りをし、少しずつ成長する野菜の変化に驚きながら、大きくなるのを楽しみにしています。

この間、ナスやキュウリがとても大きくなり、初めて皆で収穫しました。そして小さな手に包丁を持って「ねこの手で切るんだよね」とサクッサクッ! 上手に切ることができました。「おいしい!」「本当は、キュウリ嫌いだけど、とれたてはおいしいなあ」「ほくらが作ったもんなん」「このキュウリ、メツチャ最高や!!」